

リーディングプロジェクト

子供を事故から守る環境づくり

子供が 事故から守られ 思い切り チャレンジできる

子供が成長に応じて、様々なことに好奇心を持ち、
思い切りチャレンジできるよう、事故が起きにくい環境をつくる。



子供を事故から守る環境づくり

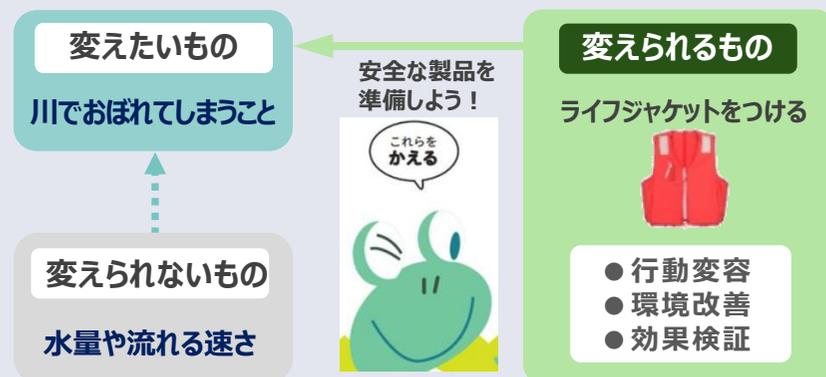
推進
チーム

子供政策連携室・生活文化スポーツ局・都市整備局・住宅政策本部・
福祉局・保健医療局・産業労働局・建設局・教育庁・警視庁・東京消防庁

「防げる事故」を確実に防ぎ、子供が安心してチャレンジできる社会を実現

- ✓ 事故が起きないように、見守るだけでは限界がある。
- ✓ “変えられるもの”を“変える”ことで事故を予防できる。

例えば… 川で遊ぶときの安全対策



“変えられるものを変える”の視点で事故予防のサイクルを回していく



政策強化の方向

産官学民によるオープンデータベースの利活用や戦略的な情報発信等により、事故予防のサイクルを効果的に回し、
子供の事故が起きにくい環境づくりを推進

1 機能的なオープンデータベースの構築・利活用促進

2 エビデンス・ベースの事故予防策等の戦略的な発信

今後のアクション

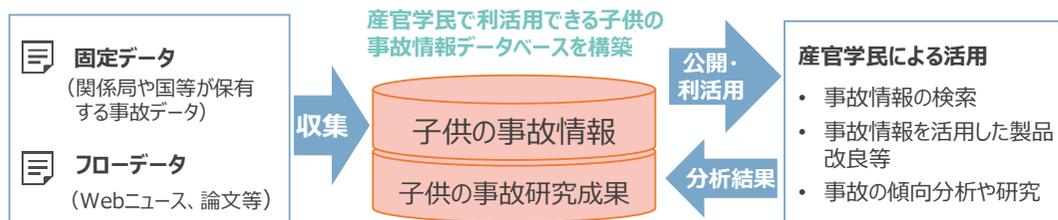
1 機能的なオープンデータベースの構築・利活用促進

データ収集

子供の事故情報データベースのバージョンアップ及び利活用促進（事故情報等データベース構築事業・セーフティ・レビュー事業／子供政策連携室）

- 子供の事故情報を一元的に蓄積し、産官学民で利活用可能なオープンデータベースを構築（2024年度末公開予定）
- 事故情報の充実に加え、検索機能にAIを活用するなど、ユーザーの利便性向上を図るため、データベースをバージョンアップ
- 子供の事故情報データベースの認知度向上に向け、子供向けの製品・サービスの開発等を行う事業者や研究者に対する普及啓発を実施
- データベースの利活用促進に向け、データベースの概要や活用例等を分かりやすく解説するガイドブックを制作

現在構築中のデータベース（イメージ）



ガイドブックについて

- ✓ データベースを製品開発・研究実務に活用する事業者・研究者や、家庭内での事故予防等を目的に利用する保護者など、想定されるユーザーの目線に立って、複数制作予定
- ✓ スマートフォン等で手軽に見てもらえるよう、デジタル版として制作



子供の事故情報データベースに掲載予定のヒヤリ・ハット情報（例）

□ 子供の事故防止ガイド

ヒヤリ・ハット経験の具体的な事例や事故予防のポイントを取りまとめ発信
(生活文化スポーツ局)



□ 食物アレルギー対応事例集

学校での食物アレルギー疾患対応についてのヒヤリハットやヒント等を事例集として発信
(教育庁)

子供の事故実態の解明を支援（保健医療局）

- 医療機関における子供の傷害データの収集等について、救命現場の専門的見地から助言

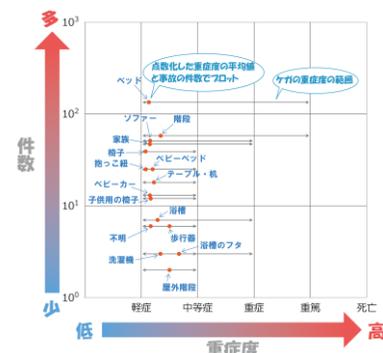
2 エビデンス・ベースの事故予防策等の戦略的な発信

調査・研究

予防策を開発

子供の事故予防につながる基礎研究を実施（セーフティ・レビュー事業／子供政策連携室）

- 2023年度から3か年を上限に、子供の事故予防に関する基礎研究を実施
 - 子供の事故に関する多くのデータ・情報を収集・解析するとともに、事故実態を解明し、子供の事故リスクを可視化
 - 事故につながるハイリスクな製品や、様々な環境下での子供の行動特性を可視化し、事故予防策開発のためのエビデンスとなる行動分析を実施
 - こうした知見等を基に、子育て家庭や学校現場で役立つ**啓発ツールを開発**
 - 子供の事故予防に取り組む産官学民が**基礎研究の成果を活用していけるよう、子供の事故情報データベースへの掲載など、利活用の手法等を検討**

製品ごとの子供の事故リスクを可視化
(イメージ)居室内を再現した環境下での
行動観察の様子

事故予防に向けた提言を実施

(セーフティ・レビュー事業／子供政策連携室)

- 社会的なトピック等を踏まえ、**具体的な事故テーマ**を選定し、関連するデータや事例の調査・実験等を行いながら、**事故予防のための提言**を取りまとめ

安全な製品開発・改良を支援（産業労働局）

- 安全・安心な東京の実現に向けた製品開発支援事業において、**子供の事故予防等に資する技術・製品の開発・改良に取り組む事業者を支援**

死亡事故を検証（福祉局）

- 子供の死亡事例について、関係機関と連携の上、**子供の死に至る情報の収集、予防可能な要因の検証、効果的な予防策の提言**を実施（チャイルド・デス・レビュー）

製品事故を検証（生活文化スポーツ局）

- 商品等による危害防止を目的に消費者代表・事業者代表・学識経験者が安全対策について協議
(東京都商品等安全対策協議会)

予防策を開発

普及啓発

安全な住環境を実現（住宅政策本部）

- 東京こどもすくすく住宅に係る改修物件への取組強化、戸建住宅への対象拡大を通じ、住宅の整備・改修を行う事業者等を支援 **拡**



- 分譲マンション等に居住する子育て世帯を対象に、子供の安全確保に係る工事費等を支援する「子供を守る」住宅確保促進事業を実施

子供の事故予防に向けた気運を醸成
（セーフティ・レビュー事業／子供政策連携室）

- 「東京都こどもセーフティプロジェクト」の専用ホームページにおいて、子供の成長や行動に合わせて「危ないところを変える」という環境づくりの重要性や、都における事故予防の施策・成果等を発信
- 子育て家庭等に身近なデジタル広告等を活用しながら広報を展開し、事故予防に向けた理解を促進
- 事業者等を対象に、エビデンス・ベースの事故予防策等をテーマにセミナーを実施し、子供にとって安全な環境・製品づくりを後押し
- 子供の事故情報データベースの認知度向上に向け、事業者や研究者に対する普及啓発を実施 ※再掲
- 子供の事故に関して保護者が求める情報発信等についてアンケート調査を実施し、結果を普及啓発に活用 **新**



安全な通学路を実現（建設局）

- 子供が日常的に利用する通学路等の交通量抑制につながるよう、地域幹線道路等のハード整備を実施

日常生活の製品事故を予防（生活文化スポーツ局）

- 子供の安全に配慮した商品見本市を開催し、安全・安心な商品をPR
- 子供の安全に配慮した商品の顕彰に係る費用を負担

自転車事故を予防（生活文化スポーツ局）

- 子供が保護者とともに自転車安全利用について学べるアプリ（輪トレ）を配信
- デジタル広告等の活用により、電動キックボード等の安全利用に関する普及啓発を実施



川での水難事故を予防（建設局）

- 都内全小中学校の各学級に水難事故防止のポスターを配布



ベランダ等からの転落事故防止に向けた各局連携の取組

- 東京都出産・子育て応援事業の商品カタログに、補助錠などの安全対策グッズを引き続き掲載（福祉局）
- 「子供を守る」住宅確保促進事業を実施（住宅政策本部）※再掲
- 注意喚起動画「STOP! 子供の転落事故」を展開（生活文化スポーツ局）



普及啓発

学校での事故を予防（教育庁）

- 子供が危険を予測し回避する能力等を身に付けられるよう、**学校における安全教育を推進**
- 教員向け指導資料「**安全教育プログラム**」の**デジタル版を配信**



日常生活での事故を予防（東京消防庁）

- 救急搬送データを分析し、**アニメーション動画**や冊子、SNS等により、日常生活における事故防止の普及啓発を実施



製品の事故を予防（生活文化スポーツ局）

- 消費者及び事業者の情報交流等を通じて、商品等の安全対策に役立てるため、NPOが運営する「**こどものケガを減らすためにみんなをつなぐプラットフォーム**」において普及啓発を実施



乳幼児の事故を予防（福祉局）

- 子供の発達段階に応じて変化する危険な場面を大人が学習できる**事故防止学習ソフト**や、幼児の視界を体験できる**チャイルドビジョン**など、**子供目線に立ったコンテンツを発信**



交通事故を予防（警視庁）

- 子供の年齢・発達段階に応じて、交通事故防止のための**教育やシートベルト・チャイルドシートの正しい使用、自転車利用時のヘルメット着用**の普及啓発を実施

3か年のアクション（主要）

具体的な取組	2024年度末（見込み）	年次計画		
		2025年度	2026年度	2027年度
セーフティ・レビュー事業	・睡眠環境における事故をテーマに提言	具体的な課題に対する解決策を提言（毎年）		
	子供の事故予防につながる基礎研究	→		
事故情報等データベース構築事業	・ホームページを運用	ホームページを活用しながら、事故予防の取組等を普及啓発（毎年）		
	・データベースの構築	ビルドアップ（機能の拡充）	データベースの利活用	

これまでのアクション

子供の事故情報データベース

データベースの在り方について、多分野から意見をいただきながら、子供の事故情報データベースの開発を進めています！



保護者・子供の意見



事故情報を簡単に
検索できるとよい

自分の年齢に合った
事故情報を知りたい

ヒヤリ・ハット情報
も知りたい

重大な事故につな
がる情報を知りたい

乳幼児等の保護者にヒアリングを行うとともに、出前授業の機会を通じて子供と対話しました

有識者の意見



- ・事故の統計的なグラフを表示する機能が有用
- ・同種別の事故について、子供の年齢や事故の発生状況等を調べられるとよい
- ・検索時に“表現のゆれ”を支援してくれると使い勝手が飛躍的に向上する

障害予防や情報処理、データサイエンス、法律、医療等の専門家から多角的にご意見をいただきました

事業者の意見



- ・子供の事故データを一元的に参照したい
- ・データベースがあれば、有用な情報に気づくことができる
- ・社内の研修材料を作成する際、参考にしたい

子供向けの製品・サービスの開発等に取り組む事業者等にヒアリングを行いました

データベースの主な機能

※2024年度末公開予定

✓ 「事故情報を見る」

救急搬送件数や交通事故発生件数等の統計データなどをBIツール（グラフや図表等）を用いて分かりやすく表示

✓ 「事故情報を探す」

学校での事故や製品事故等について、事故種別や年齢、キーワード等により、発生状況などを検索

✓ 「ニュース・論文を探す」

※日常生活におけるヒヤリ・ハット情報も掲載



子供の事故情報データベースとは？

子供に関する事故情報・Webニュース・研究論文等を検索・閲覧できるデータベースです。産官学民の様々な方にご活用いただくことで、「防げる事故」を確実に防ぎ、子供が安心してチャレンジできる社会の実現を目指します。



事故情報を見る
データを集めて分類しグラフや表で
わかりやすく表示します

事故情報を探す
事故情報を種類やキーワードで
検索することができます

ニュース・論文を探す
ニュースや論文をキーワードで
検索することができます

<開発中トップページのイメージ>

データベースのバージョンアップ

※2025年度以降の予定

✓ 事故情報、データの充実

✓ 検索機能等にAIを活用

(例) 自然言語検索機能

キッチンでよく起こる事故は



AIにより、「台所」「コンロ」等の
類似情報も含めて検索

<検索イメージ>

これまでのアクション

セーフティ・レビュー事業

「睡眠環境における事故」をテーマに、エビデンス・ベースの事故予防策（提言）の取りまとめを進めています！

睡眠環境における事故をテーマにした背景

- うつ伏せ寝や、ベッドとベッドガードとの間に挟まれる等により、**睡眠中に死亡する事故**が毎年のように発生している。
- 窒息など**重症化しやすい事故が発生しているものの**、大半が保護者等の眠っている間の事故であるため、**発生時の詳細な状況が判明していないケースが多い。**



特徴

睡眠時の**子供の行動特性**や寝室・寝具等の**睡眠時の環境**についてのエビデンスを収集し、分析

提言に至るまでのフロー

Step1
統計
分析Step2
アンケート
調査Step3
インタビュー
調査Step4
研究

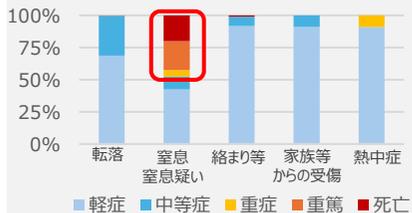
提言

Step 1 統計分析

救急搬送データから子供（0～18歳）の睡眠中の事故について傾向を分析

・発生件数が上位の事故の中で、「**転落**」が最多。次いで「**家族・動物等からの受傷**」「**絡まり・挟まり・ねじれ**等による受傷」の順

・「**窒息・窒息の疑い**」は、**死亡・重篤・重症事例の割合が高い**



(資料) 日常生活での事故による救急搬送に係るデータ(東京消防庁提供)を基に作成 ※対象期間：2019年から2022年まで

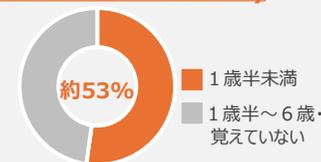
Step 2 アンケート調査

Step 1の傾向を基に、保護者を対象にWebアンケート調査を実施

子供が寝ている間に怪我をした・しそうな**経験がある**



窒息等の**発生年齢**
(1歳未満が占める割合)



Step 3 インタビュー調査

Step 2では把握困難な事故原因等について保護者へのヒアリングを実施

保護者に確認できた**事故、ヒヤリ・ハットの状況**

・**ベッド上を約195cm移動して転落した**(生後8か月)



・**10cm程度の大きさのぬいぐるみが顔を覆い、息苦しそうにしていた**(1歳半頃)

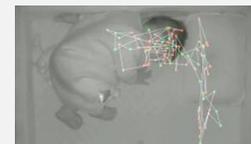


・**隣接する棚とベッドとの隙間約20cmに挟まっていた**(1歳頃)

Step 4 研究

Step 1～3を踏まえ、乳幼児を一晩モニタリングし行動分析するとともに、寝具やその周囲の状況について情報・データを収集し分析

・**月齢3か月～1歳6か月未満の乳幼児17名のモニタリングを実施**



寝ている間の子供の**動きや動作範囲**等を計測し、これらのデータを**3D解析**

センシング技術の活用により、睡眠中の動作範囲等を計測

・**37の家庭への訪問調査を実施し、寝具の弾力性(硬さ)やベッドと壁等との隙間を計測・撮影**



弾力性計測器



ベッドと壁等との隙間を計測

使用している寝具の**弾力性**など、睡眠時の環境についてのエビデンスを収集

提言

科学的手法を基に、**提言**をとりまとめ

分析・調査・研究の結果を踏まえ、事故予防につながる解決方法や安全対策を提言していきます！

これまでのアクション

こどもセーフティプロジェクトにおける広報



防げる事故を確実に防ぎ、子供が安心してチャレンジできる社会を目指し、事故予防策を発信しています！

➤ 各局と連携し、広報用のデザインを作成

➤ 都心の駅構内や電車内、SNS等において重層的に広報を展開



もし手が届くところになかったら？
「目を離さない」の前に、
危険なところを変えよう！
#東京都こどもセーフティプロジェクト



このほか、時宜を捉え、各局と連携して情報発信を行っています。



ベランダ等からの転落事故が最も多い5月に、生活文化スポーツ局の注意喚起動画を活用し、分かりやすく予防策を発信

環境局等と連携し、「今年の夏は 沸とう京 “熱中症”から命を守る行動を！」のメッセージとともに、熱中症予防の普及啓発を実施

➤ 保育士・医師など、都民の皆様からいただいた声

駅のポスターの二次元コードからHPを拝見した。勤務している保育園で、保護者へのお便りや職員研修に内容を盛り込みたい



HPから画像をダウンロードして、外来向けに院内でポスターを掲示し、案内したい

※実際にいただいた声に基づいて記載